

東尾張病院 地域連絡会議 議事概要

1. 日 時 平成19年2月2日(金) 14:00 ~ 15:15
2. 場 所 東尾張病院デイケア棟視聴覚室
3. 出席者 地域住民代表委員、関係機関委員、病院長ほか 委員23名と住民代表6名
4. 概 要

2月1日(木)発生した離院事故について、院長から謝罪実施資料に基づき経緯、顛末について概要説明実施
委員からはフェンス構造の見直し、広報体制の見直しが必要との意見あり
2月中に再度地域連絡会議を開催し、原因究明結果、再発防止策、広報体制見直し案を説明することとなった
近隣住民代表6名の参加あり。

【 主な質疑 】

委員1

- ・ 逃走時対応した職員は男性なのか？ 対象者はがっしりした人だったのか？
また、なぜ確保できなかったのか？
 - ・ 対応職員は2名とも男性だったが阻止できなかった。
 - ・ 対象者はやせ形だったがサッカーをしていたようで運動能力高く、予想外に早くフェンスを乗り越えてしまった。
警備員も阻止しようとしたが振り切られてしまった。
- ・ 対象者の病名は？
 - ・ 統合失調症である。
- ・ 長廻間住宅の人たちも対象者らしき人を見て病院に連絡したようだが。
 - ・ 情報いただき感謝する。情報を基に探索を進めることができた。
- ・ 今回は、たまたま二次被害がなくて良かったが、女性・子供しかいない時間帯だったので肝を冷やした。
 - ・ ご心配をおかけし、誠に申し訳なかった。
- ・ 内覧会で建物を見て嚴重だし安全だと思ったが、このようなことがおきて愕然としている。守衛も含めて阻止できなかったという事実が怖い。
今後、どうするつもりなのか？
 - ・ まずは原因究明を徹底的に行ない、再発防止策としてハード面・ソフト面の対応策を検討したい。
 - ・ なお、安全確認できるまでは、花壇エリアでの中庭レクリエーションは取りやめることとする。
- ・ 仮にこのようなことが起きた時、われわれが対処しやすいように、対象者にユニフォームを着せられないのか？
 - ・ ご意見としてよくわかる。住民の人権の方が大事、ということはよくわかるが、我々としては対象者の人権も考えねばならないので、難しい。

委員2

- ・ 絶対あってはならないことが起きてしまい非常に残念である。
- ・ 情報伝達について、マニュアルどおりできたとは思いますが、電話連絡だったためか連絡が来る

のが遅かったことと、その後、市として市民に広報すべきかどうか情報が不足していたため判断に迷い、市内部でも混乱した。

- ・ 結果として、病院名は出さず不審者情報として広報を行なったが、警察への探索情報書式を変更するなどしてペーパーで情報提供して欲しい。

その場合、対象者のリスク情報（危険な人なのかどうか）は広報すべきかどうか判断する上で重要である。

- ・ ご意見を基に情報伝達方法について見直しを行ないたい。

住民がザパー

- ・ 住民全体に情報が届いていなかった。
- ・ また、警察のパトカーがいつもと違う音楽を流しながら巡回していたが、このような時に流す音楽は決まっているのか？

委員 3

- ・ パトロール時の対応としては、音楽を流しながら、パトロール中放送と音楽の両方付き、無音、の3つの方法があり、音楽も数種類あるが、状況に応じて対応している。

住民がザパー

- ・ 以前の説明会でサイレン鳴らしてはどうかとの話があったが？
 - ・ この連絡会議でも検討いただいたが、サイレンは好ましくないとのことで見送ることとなった。

住民がザパー

- ・ サイレンが駄目なら、まずは病院で何か音楽を流すか、警察の広報パトロールを活用するなど考えてはどうか。

委員 4

- ・ 電話連絡が遅かったように思う。
- ・ また、住民への広報については我々代表委員（自治会長）が行うのは無理であり、警察又は行政が対応して欲しい。

委員 3

- ・ 昨夜住民の方から警察に、「何故広報しないのか」との苦情があった。
- ・ 病院からの連絡を受け、少ない情報の中で警察の判断で音楽を流しながらパトロールを行なったが、今回の反省点として広報の仕方を決めておく必要があると思う。
 - ・ 情報伝達について連絡会議で検討した結果、まずは委員に電話連絡する、ということになっていたが、皆さんが言われるように、その先の各住民の方にどのようにお伝えするのは決まっていなかった。
 - ・ 警察の広報活動を利用させていただく方法など検討したい。

住民がザパー

- ・ 絶対大丈夫と言われていたのにこのようなことが起きては困る。
今回は早く解決できたので良かったものの、夜まで長引いたらどうするつもりだったのか？
- ・ 院外外出は職員2名はりつくと聞いているが、これも大丈夫かと不安になる。
 - ・ ご心配をおかけして申し訳なかった。
夜間は夜間の対応を行なっていくこととなるが、情報提供はしっかりと行ないたい。

住民がザパー

- ・ 引き続き自宅待機してくれ、などの広報が必要と思う。

委員 5

- ・ 事故が起きた後の広報の議論もいいが、それよりもこんなことが今後起きないように、例え

ばフェンスに電流を流すなど、構造上絶対逃げれないよう完璧な対応をすれば良い。

委員 6

- ・ これまで市としても「絶対逃げることはできない施設」と説明してきたので非常に残念に思っている。構造面の対応について強く要望したい。
- ・ 情報提供・広報活動については、全体が同じ情報に基づき同レベルで動けるよう、決めていきたい。

委員 2

- ・ 今回の件は、市長を始めショックを受けており、改めて市から文書にていろいろ要望することになると思う。

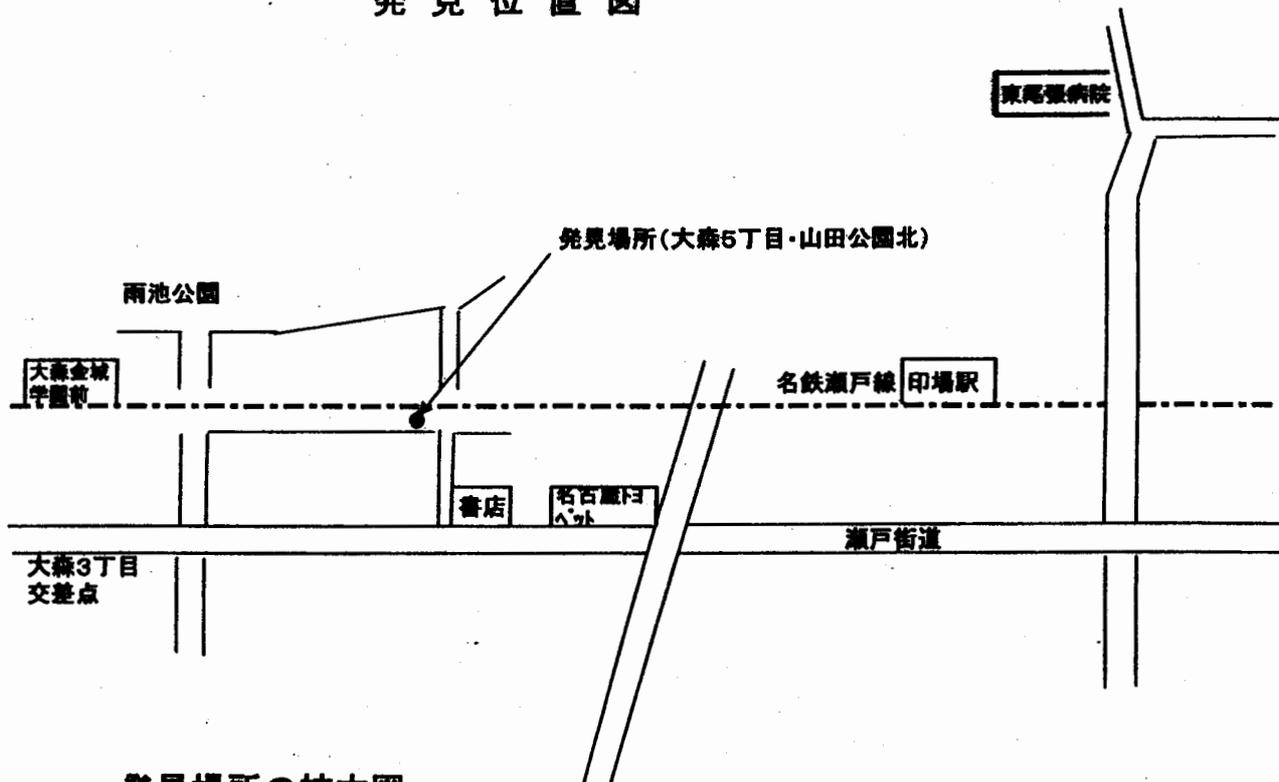
委員 7

- ・ 当方は病院を監督する立場にあるが、このような事態が起きてしまい残念であり、全国に波及する問題だと思っている。
- ・ これまでのお話で、改善すべきポイントは次の3点、構造面の対応・ソフト面の対応・広報体制の確立、であり次回の連絡会議で決定する必要がある。

病院

- ・ 2月中に改めて地域連絡会議を開き、原因究明とあわせ、再発防止策、広報体制の見直し案について説明し決定していただくこととしたい。
- ・ 以上で地域連絡会議を終了します。
本日はご多忙の中ご出席いただきありがとうございました。

発見位置図



発見場所の拡大図

